

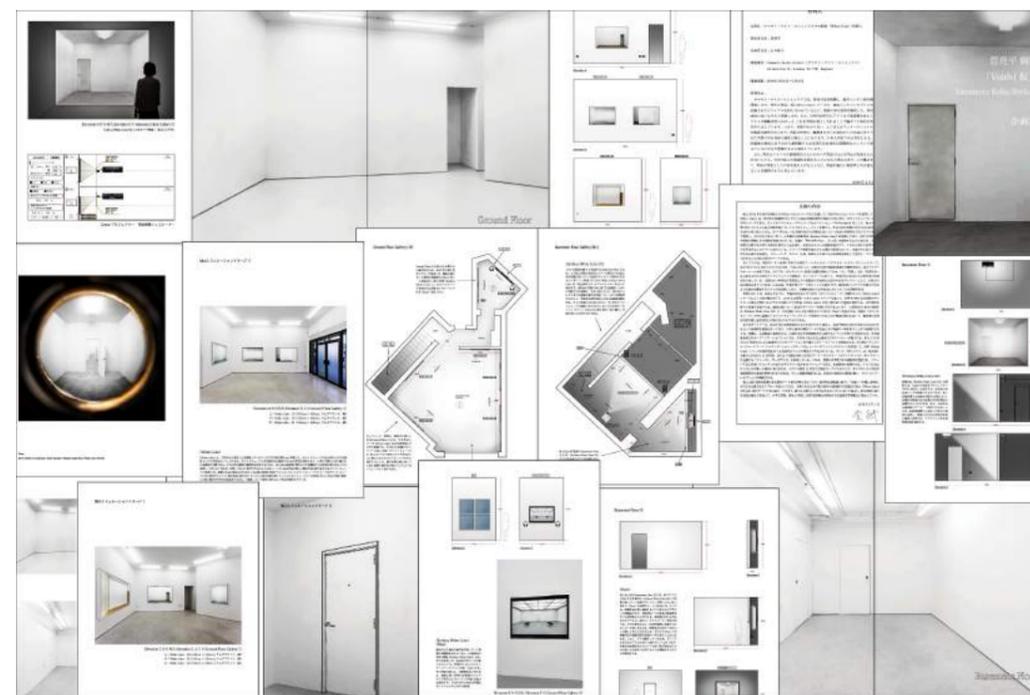
2019年度 菅亮平 通年ゼミ
Presentation Study
— プレゼンテーション・スタディ —

3~6

油画科「非常勤レクチャーC」全4回集中講義

【ドローイングとしてのプロポーザル】

場所：東京藝術大学 絵画棟 2F 演習室 / 中央棟第2講義室



菅亮平 / 2018 / 個展「As you see it」のためのプロポーザル

世の中には、アーティストは非常識的な人間であるという見方もあるかもしれません。しかし、アーティストが創作活動における様々なビジョンを実現するためには、数え切れないほどの現実的な問題と一つ一つ向き合い、それらを「常識的に」解決しなければならないことも事実です。非常識的であるべきなのは、本来その見掛けや振る舞いではなく、アーティストが生み出すアイデアの方なのです。「企画書、提案書」を意味するプロポーザルは、社会の枠組みの中で各自のアイデアを実現するための第一歩です。そしてプロポーザルをまとめるにあたっては、それぞれの狙いに基づいたイメージの作画（展示のシミュレーション図など）といったビジュアライゼーションの要素に加え、制作テーマや企画趣旨などの文章記述、また一方で予算や進行計画などの事務的な内容も含まれます。本講座では、プロポーザルの作成をいわば広義の意味での「ドローイング」として捉え、各自のビジョンを具体化させるプロセスとその複合的な創造性のあり方について考察を行います。ここでは主に展覧会の計画を目的とした内容に重点を置きますが、アートプロジェクト、レジデンスプログラム、留学、奨学金など、用途別のプロポーザルの作成に対しても理解を促します。

【講座のプログラム予定】

- ① 10月10日 17:00~19:00 / 絵画棟 2F 演習室
[展示のシミュレーション]
- ② 10月15日 17:00~19:00 / 中央棟第2講義室
[プロポーザルの書類作り]
- ③ 10月21日 17:00~19:00 / 絵画棟 2F 演習室
[ヴェネチア・ビエンナーレのプロポーザル読解]
- ④ 10月25日 17:00~19:00 / 絵画棟 2F 演習室
[受講生によるプレゼンテーションと講評]